



一般に日本のホスピス（緩和ケア）は、がんやエイズの末期にある人を対象としていますが、ホームホスピスは、がんに限らず、様々な病いや障害のために生きる困難に直面している人とその家族がケアの対象です。一軒の家（民家）に5～6人程度の方がともに暮らし、その住人を介護スタッフや地域の医療連携チームが支えるのがホームホスピスです。一人暮らしで家族のいない人も、ともに暮らし合う関係を築いていきます。そして、痛みやそのほかの身体的なケアだけでなく、生活者として人生の幕を閉じるまで、住まいを中心に医療、介護、生活支援が一体となったケアの体制を構築します。

全国ホームホスピス協会によるサポート

Table with 2 columns: 開設のサポート (Opening Support) and 運営のサポート (Operation Support). Lists various support services like school support, legal advice, and training.

ホームホスピス協会の研修について

- ホームホスピス全国大会
地域別講演会
スキルアップ研修

全国のホームホスピスマップ

2026年2月1日現在



全国ホームホスピス協会 事務局
〒880-0913 宮崎市恒久2丁目19-6
電話：0985-65-8087 FAX：0985-53-6054
Mail：info@homehospice-jp.org HP：https://homehospice-jp.org

Supported by THE NIPPON FOUNDATION

ホームホスピス®を始めた人
ホームホスピス®を学びたい人

のための

ホームホスピスの学校

2026年6月(第11期)・10月(第12期)



お申し込みは、「全国ホームホスピス協会」ホームページから
https://homehospice-jp.org



A ホームホスピス「つくる」コース

- ホームホスピス®を開設したい人が受講する研修プログラム

理念やケアの実際および運営や管理についての座学（オンライン講座）と20日間の現場実習（ホームホスピスの現場で実際のケアに携わる）で構成されます。
*ホームホスピスの開設を目指す方の必須研修です。

B ホームホスピス「まなぶ」コース

- ホームホスピス®の理念やケア・看取りの哲学を学びたい人が受講する研修プログラム

理念やケアの実際についての座学（オンライン講座）です。希望者はホームホスピスの見学や体験をすることもできます。修了後は学びを活かし、各地・各分野で活躍していただきます。また、既存のホームホスピスで働きたい方にもお勧めします。



みざわ(奈良県)



和はは(兵庫県)



みのりの家(高知県)



やっちゃん(北海道)

ホームホスピス®は、全国ホームホスピス協会の登録商標(区分：第44類)です。

研修「ホームホスピスの学校」の概要 (HHはホームホスピスの略)

1 ▶ 研修の対象者

A HHつくるコース

ホームホスピス®を開設したいと考えている方が対象です。このコースは、運営責任者（もしくは事務責任者）と現場のケアリーダーになる方を含むチーム（複数名）で受講していただきますので、お申し込み前にメンバーを確定しておいてください。

ケアリーダーは実際のケアに従事するため、看護師または介護士の資格を持っていることが条件となります。
(ケアリーダーの年齢は、原則 65 歳以下とします。)

B HHまなぶコース

ホームホスピスの理念に共感し、その哲学や民家であることの意義、ケアの考え方などを、現在従事している仕事に活かしたいと考えている方（個人）が対象です。

2 ▶ 研修の形態

全 各コース共通

座学はミーティングツール **Zoom** と教育管理ツール **Google Classroom** を利用したオンライン講座です。

そのため、事前に **Google アカウント (Gmail)** を取得する必要があります。座学は、パソコン、タブレット、スマホで受講できますが、資料によっては文字数が多い場合がありますので、なるべくパソコンや画面が大きなタブレットによる受講をお勧めします。テキストとして「ホームホスピスの基準」を使用します。

また、研修期間中にオンラインミーティングなどにより、研修生同士の交流を図る機会も設けています。

A HHつくるコース

つくるコースはチームでの受講となります。ケアリーダーは、「座学①」「つくる準備講座」「座学②」の受講、「全員参加ミーティング」「オンライン交流会」への参加及び「実習」が必須となります。運営責任者（もしくは事務責任者）は、「座学①」「つくる準備講座」「座学②」の受講及び「事務研修」の受講、「全員参加ミーティング」「オンライン交流会」への参加が必須となります。

また、座学②の前にチーム単位で面接を受けていただきますが、面接の際に座学②以降の受講についての意思などを確認します。実習は、実際のホームホスピスの現場に入りスタッフの一員としてOJTの形で実施します。

実習先のホームホスピスは、全国に 16ヶ所あり（4 ページのマップ参照）が、ご希望により個別相談の上決定します。

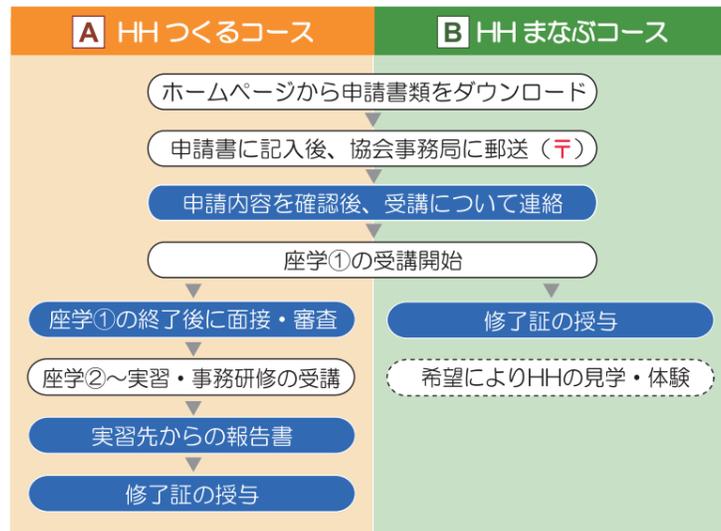
座学については科目ごとに、実習については毎日、レポート（日報）の提出が課せられます。

B HHまなぶコース

まなぶコースの受講者は、「座学①」の受講及び「全員参加ミーティング」への参加が必須となります。

また、希望者は、ホームホスピスの見学や体験実習をすることができますが、別途実習料金が必要となります。

3 ▶ お申込み・審査



4 ▶ 研修プログラム

種別	分類	科目	期間・時間(※)
座学① (全員)	理念とケア	ホームホスピスの基本	120分
		ホームホスピスケアの哲学	90分
		ホームホスピスの環境1	90分
		ホームホスピスのケア1	90分
		ホームホスピスのケア2	90分
全員参加	全員参加ミーティング(※1)	90分	
つくるコース	つくる準備講座	60分	
	面接(チーム単位)	各30分	
座学② (つくるコース)	運営	地域に開かれた運営	90分
		ホームホスピスの環境2	90分
		安全管理1(ケア)	90分
		安全管理2(防災)	90分
		仲間づくりと地域づくり	90分
		組織と持続可能な運営(労務)	90分
		組織と持続可能な運営(経営)	90分
		オンライン交流会(※2)	90分
事務研修 つくるコース (必須)	・スケジュール設定・法人設立・物件選定 ・助成金申請・労務管理・料金設定・契約などについて(協会事務局が担当)	2時間程度	
実習 つくるコース (必須)	連続した(法定休日を除く)20日間の研修ができない場合は、連続した原則5日間の研修を2回含むスケジュールで実施します。それ以外の10日間については、状況及び事情に応じた組合せを可能とします。	20日間	

● 科目の期間・時間については、内容により変更になる場合があります。

(※1) 全員参加ミーティングは、両コースの受講生の皆さんが参加するZoomを利用したオンラインミーティングです。

(※2) オンライン交流会は、「つくるコース」受講生の皆さんが、学びを共有し、お互いに交流を深めるための時間です。

研修料について

種別	料金(税込み)	備考
賛助会費	5,000円	受講に当たっては当協会の賛助会員に登録していただく必要があります。
座学①	26,000円	受講者単位の料金です(※3)。テキストとして「ホームホスピスの基準」の代金(1,000円)が含まれます(※4)。
座学②	60,000円	「つくるコース」チーム単位の受講料です。事務研修料を含みます。
実習	6,000円/日	「つくるコース」は20日分を事前にお支払いいただきます。実習者は各チームからお一人です。

(※3) 「つくるコース」は、チームリーダーの方が26,000円、他のメンバーの方は11,000円/人の追加料金となります(テキスト代含む)。(3名で参加の場合、座学①の料金はチームで48,000円)

(※4) 既にテキスト(基準)をお持ちの方は、その旨を申込書にご記載ください。

- 各コースとも受講開始時に賛助会費と座学①の料金を納入していただきます。

研修スケジュール(予定)

基本的に年2回の開校を計画しています。

● 表中の実習の期間は、目安です。受講生と実習先の事情等を考慮して個別に設定します。



修了後の活動について

A HHつくるコース

全国ホームホスピス協会の賛助会員として、協会のサポートを受けながらホームホスピス開設に向けて準備を行います。

【特記事項】

- 学校の開始時に協会の賛助会員として登録
- 修了後3年以内を目安にホームホスピスを開設(※)
- ホームホスピス開設後は、団体正会員として登録
- 2026年度の全国大会(4ページ参照)は会員料金で参加可能

(※) ホームホスピス®は、建物を含めた環境もホームホスピス®の基準を満たしている必要があります。協会では、そのような拠点整備のアドバイスも行います。

B HHまなぶコース

全国ホームホスピス協会の賛助会員として、介護や看護の現場でホームホスピスの理念(マインド)を持って活動すると同時に、在宅看取りの普及にもその学びを生かしていただきます。

また、コース修了後にホームホスピスで働きたい方も大歓迎です!

【特記事項】

- 学校の開始時に協会の賛助会員として登録
- 2026年度の全国大会は会員料金で参加可能

A HHつくるコース

賛助会費×3(15,000円)+座学①(48,000円)
+座学②(60,000円)+実習(6,000円×20日)
=243,000円(※5)

(※5) 1チーム(3名の場合)の料金です。1名追加の場合は、16,000円(賛助会費とテキスト台を含みます。)

B HHまなぶコース

賛助会費(5,000円)+座学①(26,000円)
=31,000円

● 「つくるコース」の実習についての注意事項

現場実習では、運営の様子を見て学んでいただくとともに、実際のケアに携わっていただきますので、予期せぬ事故なども発生する可能性があります。

相手先に損害を与えてしまった場合は、実習先の損害保険が適用できる場合がありますが、ご自身の不注意でケガをされるなどした場合は、適用されない場合がありますので、ご自身の傷害保険などの加入状況を予めご確認ください。

研修者の声

京都府宇治市
看護師 金澤 克枝 さん



「第10期「つくるコース」修了生」

私は、訪問看護師を30年続けてきたなかで、本人の希望とは違う場所で最期を迎えたり、望んでいない医療やケアが選ばれてしまう場面を多く見ました。

ケアの力とは、治療だけではなく、その人らしさを大切にしながら生活や暮らしを丁寧に支え、その人が本来持っている力を引き出すことだと改めて学びました。

病院でも施設でもない選択肢として、第二の我が家のように安心して過ごせるホームホスピスが地域に根差した形で広がっていくことはとても大切です。簡単ではありませんが、志しを同じくする仲間とともに一人一人が自分らしく最期まで過ごせる居場所をこれから丁寧に作っていききたいと思っています。

研修者の声

青森県弘前市
看護師 須藤 小百合 さん



「第10期「まなぶコース」修了生」

私は終末期ケアを大切に考えています。ご本人が人生を全うし、残された方々にとって前を向くための糧となる時間を過ごしてほしいと願い働いてきました。今まで終末期ケアが行える有料老人ホームにありましたが、自身の力不足を感じる場面も多く、ホスピス本来の役割や姿勢を学び直したいと考え受講いたしました。

まなぶコースを通じて、同じ志を持つ仲間が全国にいると知れたことは最大の学びです。日々の人手不足や厳しい環境下で理想を諦めそうになることもありますが、各地で信念を持ち実践されている方々の姿は大きな励みとなりました。また、全国大会への参加により、暖かい輪が広がる勢いを感じることができました。そして、抱いていた違和感は間違いではなく、自分の目指す方向性は確かなのだと確信をもつことができました。

「研修者の声」の本人イメージはAIによる似顔絵です。